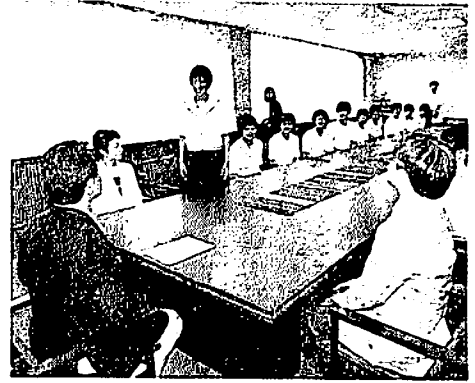


# 全国大会頑張ります！ 旭川藤女子高のバスケット部 西川市長に初出場の抱負語る



【旭川発】旭川藤女子高（水野清哉校長）のバスケットボール部は二十二日、全国大会初出場を決めた報告をするため、旭川市役所の西川将人市長のもとを訪れ、意気込みを伝えた写真。

同校バスケットボール部は、六月二十日から二十二日の間に北見市で行われた第六十七回道高校バスケットボール選手権大会で優勝に輝き、八月に千葉県で開催されるインターハイへの出場を決めた。同種目で旭川地区の高校がインターハイに出場するのは、三十二年ぶりで、旭川藤女子としては初めての出場。

那奈さん（三年）は「全国大会では走り続けたい。チームのスローガンである『ワンフォーワン』を頂き、北海道の代表として頑張りたい」と決意を。

西川市長は「旭川代表として新しい歴史を作っていただきたい。初めての全国大会、緊張するかもしれないが、みんなで力を合わせ、自信をもって一戦一戦、戦ってもらいたい」と激励した。

その後、部員一人ひとりが二勝でも多くしてきたという「先輩たちが全力で戦えるよう、全力でサポートしたい」と意気込みを伝えた。

顧問の伊藤教諭は「良い生徒ばかりで、チームワークが素晴らしいチーム。周りが協力のおかげで全国大会へ出場できる」、水野校長は「選手の中には、伊藤教諭に親子二代で指導を受けた生徒もいる。本当に頑張ってくれた」と話していた。

あさひかわ新聞

2014年(平成26年) 7月29日



## 初挑戦・旭藤女子が西川市長を表敬訪問

インターハイの女子バスケットボール競技（八月一日〜七日・千葉八千代市）に出場する旭藤女子の監督、選手が二十二日、旭川市役所を訪れ、西川将人市長に全国での健闘を誓った。

三年生を中心にしたチームワークの良さやディフェンス力を持ち味。全道大会では、決勝リーグで札幌山の手には敗れたが、函館中部、札幌東商を下し、二勝一敗で準優勝、初の全国切符を手にした。

この日は、水野清哉校長と伊藤淳子監督以下選手二十人が、西川市長を訪問し、市長は「初めての全国大会、緊張するでしょうが、練習の成果を発揮して、自信を持って一戦一戦戦ってきてください」と激励した。

玉田主将は「粘り強いディフェンスで、ワンフォーアールのチームのモットーを胸に試合をします」と抱負を語った。

チームは二十九日に旭川を離れ、東京で調整して大会に挑む。組合せでは一回戦で県立広島鶴音と対戦する。

伊藤監督は「部員二十人で勝ち取った

- ① 全国大会です。習字など環境との戦いもあります。何とか二つ勝って全国常連の昭和学院（千葉）と対戦したい」と意欲を語った。
- 旭藤女子のメンバー（◎印は主将、○内は学年）
- ▽監督 伊藤淳子
  - ▽選手 ◎玉田那奈
  - ①角地利奈
  - ②近井菜津美
  - ③吉田樹里
  - ④河野朱夏
  - ⑤森木葉
  - ⑥福嶋美咲
  - ⑦伊場花菜乃
  - ⑧坂口夢
  - ⑨前川絵梨
  - ⑩三浦優衣
  - ⑪飯田音里
  - ⑫竹内伶奈
  - ⑬畑中和奈
  - ⑭崎披佑香
  - ⑮宮島育美
  - ⑯石村優衣
  - ⑰大田詩織
  - ⑱木下沙耶花
  - ⑳畑中里南